

01 まちづくりの実践

発表者：佐々木めぐみ（生命環境学部 地域社会システム学科3年）、岩澤詩恵莉、遠藤美里、萱沼杏菜、菊池永佳、駒野響子、本間すみれ、山本知沙（同1年）、松尾隼太郎（同学部 環境科学科2年）
下田万葉（同学部 食物科学科1年）、有賀廣弥（工学部 土木環境工学科4年）

担当教員：大山勲（生命環境学域：地域計画学・景観まちづくり・観光まちづくり・防災まちづくり）

テーマ：地域資源を発掘しそれを活かす地域活性化を考える。

活動：【資源発見と課題抽出】現地調査
【課題解決の現場と哲学を体得】先進地視察
【検討】資源を活かし課題を解決する企画案を検討
【実践】対象地を決定し、地域の方と企画案を実行
【成果発表と交流】地域への還元・先進地との交流

◎地域の持続的な活性化を考える【地域のためになることを考える】

◎主役は地域。学生のみでの企画・実行はしない。地域の方々（住民、行政、企業）と一緒に考え、地域の方々と一緒に実践する【まちづくり】（=企画に留まらず実践する。）

◎先進地視察ではその風景の背景を考える【人づくり】

対象地現地調査

- ① 身延町門内地区まちづくり（観光協会・商店組合・商工会・身延山）
- ② 富士河口湖町河口浅間まちづくり（河口浅間住民まちづくりの会）
- ③ 市川大門地区まちづくり（住民まちづくり懇談会＋市川三郷町）
- ④ 県内各地 マルシェ・朝市によるまちづくり（勝沼朝市ほか）
- ⑤ 県内各地 リノベーションによるまちづくり（河口浅間ほか）

まちづくり先進地視察

| | |
|---------------|------|
| 草津温泉町 | 軽井沢町 |
| 海野宿 | 飯島町 |
| 奈良井宿 | 忍野村 |
| 富士吉田市 | 松本市 |
| 甲州市山梨市笛吹市マルシェ | |

2019年度は1年生が中心だったため、授業期間中は忙しく、主な活動は長期休暇期間中に行いました。夏期休暇に、山梨県内の対象候補地や県内外のまちづくり先進地に行き、現地を見て、地域の方々のお話を聞き、地域課題とその解決を試行錯誤で努力する実践現場を学びました。その後、企画実践を行う対象地を身延町門前町の活性化に絞り、観光協会会長さんとの打ち合わせを経て、春季休暇中に調査・企画・実践を計画していたところ、新型コロナウイルス（COVID-19）のためその後の活動は残念ながらできませんでした。今年度は実践までに至りませんでした。県内外の事例から多くを学び、まちづくりについて深く考えることができました。特に先進地視察では今まで考えたこともなかった多くのことを学びました。この経験を活かして状況が落ち着いたら、活動を再開したいと思います。

身延町門内地区 8/29現地調査&地域皆さんとmeeting →2/4観光会長さんとmeeting→2/12meeting



河口浅間地区 9/10現地調査&地域の方々と交流



市川大門 8/22、9/9現地調査&地域皆さんとmeeting

飯島町・奈良井 9/15(市川住民皆さんと視察)



草津温泉町・軽井沢町・海野宿 8/23-24視察



富士吉田市 10/26視察



松本市 10/11視察



忍野村 9/9視察



県内マルシェ 2/2 2/9視察



■体験レポートから（担当教員コメント：1年生でも現場の人と触れればこれだけのことに気づく！）

■役場が押し付けるのではなく住民が主体となって動けるものでないと持続性が無い。■今ある資源を活かして行くことが大事。■草津を見て山梨の遅れを感じた。■道が狭く車が不便であれば道を広げれば良いと考えていたが、その町らしさや景観を損ねてしまったらまちづくりとしては本末転倒であることを実感。■職員の方たちの本気の努力。面倒で長期を要する課題解決に努力する。町が好きだという役場職員にまちづくりは支えられている。たった4人の職員でも町を変えられる。■歴史や今あるものを活かすまちづくりの大切さ■町民自らが条例を作ることによって、町民が地区の問題点を理解し、町政への理解・協力があがっていく■町長さんは職員の人々に「責任は自分がとるからなんでもやれ」と役場職員に言い職員の自由度が上がったことはすごい。■同じ山梨県の中でこんなにも色々な方が関わって、素敵な街になってきていることにとても感動。■異動のある公務員だから、自分ひとりが抱え込んでしまうとその後引き継ぐときに何もできなくなってしまう。■役所の人や異動しても、地域の人で活動が継続できるような人間関係づくりが大事。■PRされすぎたものや王道的なもの、観光地化のためにつくられたものを外国人は見たいのではなく、日本人の日常生活の一コマを見たり体験したりすることに魅力を感じている。■何かに対して熱い思いを抱いて働いている大人の方を見ると、仕事に就く分野は違っても将来のなりたい大人の姿や自己満足・自分中心のためだけに働かない働き方について学び考えさせられる。■人や地域とのつながりが若者には魅力的に映ると思う。